



毎日気温が高く、蒸し暑い日々が続いています。梅雨が明けるのももうすぐでしょうか。この時期の雨は、「清めの水」ということで、雨を望んでいる地域もあるそうです。読書に没頭して過ごすのも、梅雨ならではの楽しみ方かも知れませんね。

夏休みのための特別貸出のお知らせ

貸出期間・・・7月18日(火)～20日(木)

貸出冊数・・・1人5冊まで

(夏休みが始まる前に読み終えた人は、他の本に借り換えることもできます)

返却期限・・・9月8日(金)

(図書館が閉まっている時は、返却ボックスへ入れてください)

長い夏休みが始まります。部活に勉強に、時間を有意義に使って過ごしてくださいね。快適な室内で身体を休めながら、読書するのもいいですね。ぜひ、この夏に長編の本にもチャレンジしてみてください。

たくさんの生徒が昼休みに図書室で過ごしたり、本を借りに来てくれて、うれしく思います。リクエスト(図書館にない本を希望する)時は、カウンター横に申込書と受付ボックスが置いてあります。どうぞ利用してください。

検討した後、希望の本が用意できたらお知らせします。



図書館カレンダー(7月)

◎…1日開館日

○…昼休み開館日

月	火	水	木	金
3 ○	4 ○	5 ○	6 ◎	7 ○
10 ○	11◎	12 ○	13 ○	14 ○
17 休	18◎	19 ○	20 ◎	21 夏休み

*** 今月の新着図書から ***

『その声は、長い旅をした』

中澤 晶子 著

国土社



四番町少年合唱団の第一ソプラノ・開は、謎めいた新入団員・翔平の声に衝撃を受ける。なんて声だ！翔平がライバルとなることを強く意識する開。やがて、距離を縮める二人に次々と思いがけない出来事が……。変声期を前にした少年たちの心の揺らぎ、演奏会で起きた奇跡とは。そして、天正時代に生きた美声の少年・コタロウとは？

『「くうき」が僕らを呑みこむ前に』

山田 健太 著

たまむら さちこ 著

理論社



すごく貴重な「自由」を享受しているのに気づいていない。自分の頭でしっかり考えていないと、あっという間に失くしてしまうのに。生まれたときから身の回りにある「自由」と「民主主義」について、若い人の身近な日常に即して描く、「言論の自由」専門研究者と絵本作家のコラボレーションによる絵本。

その他にも、新しい本、課題図書の本などが入荷されました。ぜひ借りて、夏休みに読んでみてください。

- 『あしたのことば』 森 絵都 著 (小峰書店)
- 『食卓の小さな遊び 箸置きの世界』 串岡 慶子 著 (平凡社)
- 『月のかがく』 えびな みつる (旬報社)

等